

# ふくおかAL通信

## ～県立学校の教室から～

第8号  
(H29. 12)

福岡県立学校  
新たな学び  
プロジェクト



福岡県立育徳館中学校・高等学校

### 次世代のリーダーを育成するアクティブ・ラーニング

今回は福岡県立育徳館中学校・高等学校の取組の紹介です。同校は1758年（宝暦8年）に小笠原藩の藩校として開校し、創立259年という県下一の歴史と伝統を誇っています。平成16年に育徳館中学校が併設されて県下初の中高一貫教育校となり、新校舎が建設されました。生徒達は自然豊かな環境で切磋琢磨しながら学校生活を送っています。

#### 1 育徳館中学校・高等学校について

##### (1) 教育目標

「育徳館の歴史と伝統を大切にするとともに進取の気風に溢れ、めまぐるしく変わる社会環境の中で逞しく生き抜く、知・徳・体のバランスのとれた次世代のリーダーとなり得る生徒を育成する」です。

##### 【目指す生徒像】

①品位を備え、人としての良い行いができる生徒 ②確かな学力を身に付けた生徒 ③志を高く持ち挑戦を厭わない、心身ともに逞しい生徒

##### (2) 「育徳ビジョン」(中高一貫教育指導体系)

「次世代を担う人材(次世代のリーダー)の育成」をミッションとし、6年間のどの時期にどのような力をつけるかを学習指導、進路指導、生徒指導の三つの観点から明確に示した「育徳ビジョン」に基づいた教育活動を行っています。

「アクティブ・ラーニング」を学校経営要項の中に位置付け、あらゆる教育活動において積極的に取り入れています。生徒たちが主体的・協働的に学ぶとともに、一人一人がもっている個性と能力を十分に引き出すことを常に意識した授業が行われています。

#### 2 「育徳ビジョン」に基づくアクティブ・ラーニング

##### (1) 各教科の授業での実践例

生徒達の「主体的・対話的で深い学び」を実現できるような工夫をし、特に自己決定させる場を大切にしています。以下に実践例の一部を示します。

##### 中学1年 社会

「自立の道を歩む東南アジア」

ペアワーク、グループワークで意見を出し合いながら、写真やグラフの読み取りを行う。外国との関わりを視点に、地理的・歴史的背景から東南アジアの特色にせまる。

##### 中学2年 保健体育

「し尿やごみの処理について理解しよう」

生活の中の身近な問題であるし尿やごみについて、何が問題なのか、どうしたら解決できるかを班で考え、最後は全体でまとめる。

##### 中学3年 国語

「様々な本を紹介する際に、効果的な構成を考えよう」

①本の紹介(個人→班)を行う。②班全員の本を効果的に紹介



する構成を考える。③発表の評価を行う。

#### 高校1年 理科 (生物基礎)

「腎臓の尿生成における成分の濃度について説明しよう」

電子黒板・書画カメラを用いて考え方を共有し、グループでの教え合いによって学習内容の定着を図る。

#### 高校2年 国語 (現代文B)

「キーワードに注意して段落の内容を読み取ろう」

- ①ペアで本文を音読する。②問題提起の確認を行う。
- ③キーワードに注意しながら筆者の意見を考察する。

#### 高校3年 国語 (古典B)

「センター試験古典 (古文) の解法、理解度の確認をしよう」

- ①制限時間 20 分で問題を解く。②ペアで答え合わせを行う。③ペアでワークシートを使って、文法、解釈の確認を行う。④ワークシートの確認、発表をする。⑤解答を配布し確認を行う。

### (2) 課題研究「育徳プラン」

課題探求力を育成していくために、高校2年次に課題研究「育徳プラン」を行っています。生徒は自分で課題テーマを設定して研究を深め、社会で求められる課題探求力を養います。中間発表会では、グループに分かれて学年での事前発表会を経て選抜された生徒が行います。更に、各分野において高度な専門知識を持つ大学等の先生方をお招きして講評もいただくため、内容だけでなく、より高いプレゼンテーション力が求められます。

中学校においても「育徳プラン」を取り入れ、継続的な取組によって更なる課題探求力の育成を図っています。

### (3) 特色ある学校行事

学校所有の茶園での全校生徒による茶摘み体験は、歴史と伝統を受け継ぐ勤労体験学習として地域住民に親しまれています。また、中高合同での文化祭や体育大会等の異校種交流体験等を充実させ、生徒の個性と能力を引き出しながら人格形成を目指しています。

## 3 中高の教職員の連携

中学校と高校の職員同士が常に情報交換を行い、育徳館として目指す生徒像について共通理解を図っています。最近では中学校の教務主任が「我が校のALを」と題して職員研修を行い、中学校での授業の紹介をしながら新しい大学入試に向けて求められる力を全職員で共有しました。グループ討議では、ALの視点からの授業改善の手立てについて全員で意見交換しながら、学校全体としての方向性を確認しました。また、高校の進路担当の主幹教諭が主催する進路検討委員会（毎週木曜日4限目）では、高校の進路、教務担当と指導教諭、中学の教務、生徒指導、進路担当、中学・高校の各学年主任が参加してお互いに情報交換しながら育徳館の教育目標を踏まえた教育活動となるよう検証・改善を行っています。

## 4 アクティブ・ラーニングの成果

### (1) 主体性・積極性の伸長

先生がALの視点からの授業改善に積極的に取り組むことで、生徒が主体的に行動する姿が授業だけではなく、学校行事や部活動等多くの場面で現れるようになりました。

### (2) 教員の授業改善への意識の向上

教員がこれまでの授業を見直し、授業の中で生徒が主体的・対話的に考え、より深い学びにつながるような授業の在り方を志向しています。特に中高の教員の連携の強化は、中高一貫教育校ならではの強みです。

